

不安を感じ、その不安な状況に対する『理由』を示してくれることをいつも求めているよです。人々は先の見えないことに不安を感じ、その不安な状況に対する『理由』を示してくれることをいつも求めているよです。

乗る人が注目されていましたが、彼らが語っていたのは「今あなたがそういう状況にあるのは、こういう『理由』があるからよ」という言葉でした。そして、今は彼らに代わって、ニュース解説者が「いい質問ですねえ。実は、今のこの状況というのは、こういう『理由』からなんですよ」と言って注目を集めています。

何年前、占い師やスピリチュアル・カウンセラーと名乗る人が注目されていましたが、彼らが語っていたのは「今あなたがそういう状況にあるのは、こういう『理由』があるからよ」という言葉でした。そして、今は彼らに代わって、ニュース解説者が「いい質問ですねえ。実は、今のこの状況というのは、こういう『理由』からなんですよ」と言って注目を集めています。

そのようなヨブに、妻は「神を呪え」と言い、はじめのうちは同情していた友人たちも、段々、「お前が何か悪いことをしたから、こんなことが次々と起こったに違いない。お前自身に何か『理由』があるに違いない」と迫ります。

実は、ヨブに次々と災難が襲つたのは、天子において神様とサタンがある意味で勝負をしていましたから。『ヨブの正しさは、豊かさから来ていましたから。それとも信仰か

旧約聖書に登場するヨブは、誰もが義人と認める人でした。が、ある日、突然、財産を失い、家族を失い、自らの健康まで失います。

そのようなヨブに、妻は「神を呪え」と言い、はじめのうちは同情していた友人たちも、段々、「お前が何か悪いことをしたから、こんなことが次々と起こったに違いない。お前自身に何か『理由』があるに違いない」と迫ります。

実は、ヨブに次々と災難が

ら来ているのか。まさに、ヨブ自身が神様とサタンとの戦いの『場』だったわけです。そんなことを知らないヨブは、嘆きながらも最後まで信仰を捨てることはなく、遂に神様に直談判しました。「なぜ、私がこのような目に遭わなければならないのですか。」

**叫びに応えられる
神様**

弟子たちが、生まれつき目の見えない人を指して、イエス様に「この人が生まれついたとき、イエス様も、神様がヨブに言われたように「これは何者か」と弟子たちに言った。ヨブに言われたように「これでもよかったですのではないかと思ひます。しかし、イエス様はこう言われました。

「神の業がこの人に現れるためである。」

話をすりましょう。神様は、ヨブの『なぜですか』という問い合わせに答えるどころか、逆に、「これは何者か。知識もないのに、言葉を重ねて、神の経緯を暗くするとは……」とヨブに語られ、それらの言葉によって、ヨブは自分自身の身の程をわきまえたのでした。

司祭 ペテロ 中原 康貴

義人ヨブの苦しみ



小名浜海岸地区の津波被災地

(神戸聖ペテロ教会牧師
神戸国際人学付属高校
非常勤チャップレン)



神のおとずれ

日本聖公会
神戸教区報

2011年
5月号

発行所
神戸教区事務所
TEL 078(351)5469
FAX 078(382)1095
<http://www.nskk.org/kobe/>

発行責任者
司祭 芳我秀一

印刷所
文明堂印刷所

をしていたのだ。私はお前がすべてを失つても、私への信頼は揺るがないと信じていたよ。ヨブよ、悪かったな」と話すでしょう。

しかし、聖書は違うのです。神様は、ヨブの『なぜですか』という問い合わせに答えるどころか、逆に、「これは何者か。知識もないのに、言葉を重ねて、神の経緯を暗くするとは……」とヨブに語られ、それらの言葉によって、ヨブは自分自身の身の程をわきまえたのでした。

神様は決して私たちを見捨てることはありません。神様は今、東日本大震災によって苦しんでいる人々の叫びをちゃんと聞いておられます。ラザロの死に涙したイエス様は、今、大震災の被災者を思い、涙しておられるでしょう。そして、神様は心に大きな憤りを覚え、彼らの叫びに必ず答えられます。「信じるなら、神の栄光が見られる」のです。被災者は今、本当に打ちひしがれています。ですから、「なぜ、このような目に」と問うことよりも、私たちは、東日本大震災の被災者の上に、神の御業がどのように現れるのかを、彼らのためにも、確かな信仰を持って、堅く待ち望み、祈りましょう。

東日本大震災関連情報

<p>神戸教区の動き・対応</p> <p>3月27日(日)</p> <p>1. 坪井智執事、小名浜聖テモテ教会にて主日礼拝奉仕。(25日から28日まで支援活動と視察)</p> <p>2. 原田佳城司祭、中原康貴司祭、杉野達也神学生、浪花朋久神学生支援物資を車に積んで神戸から小名浜聖テモテ教会に出発し、支援物資仕分け配達また主日礼拝奉仕の活動。原田司祭は4月11日まで小名浜の救援活動支援。</p>	<p>3月31日(木)</p> <p>被災者救援活動の縮小と、同教会への支援物資(野菜類等)送付を終了する連絡。</p> <p>1. 中原司祭、杉野・浪花両神学生は仙台に移動し、中原司祭は仙台から帰神。</p>	<p>4月4日(月)</p> <p>1. 長田司祭、釣田兄、永野兄と杉野・浪花両神学生、共に石巻市へ向い、現地のニーズの調査。湊中学校で泥の搔き出し作業を行い、仙台に戻る。</p> <p>2. 上原司祭、林司祭、小名浜(京都)と仙台に向う。</p>
<p>3月28日(月)～31日(木)</p> <p>1. 瀬山会治司祭、北関東教区の被災状況把握のために現地に出発。</p>	<p>4月1日(金)</p> <p>1. 長田吉史司祭、釣田功児(ペテロ)、永野拓也兄(ヨハネ)が被災地に出発。</p>	<p>4月5日(火)</p> <p>1. 仙台にいる神戸教区ボランティアは仙台から石巻市に支援物資搬送作業</p>
<p>3月29日(火)～30日(水)</p> <p>1. 小林尚明司祭、有田二郎兄(広島)、支援物資を小名浜、仙台に届け、被災地を視察。</p>	<p>4月2日(土)</p> <p>1. 神戸聖ミカエル教会に集積した支援物資を宮田祐三兄(東京教区)がトラックで被災地に輸送。</p>	<p>4月9日(火)</p> <p>1. 上原司祭、小名浜にて資材搬入を手伝った後、仙台に向う。</p>
<p>3月30日(水)</p> <p>1. 小名浜聖テモテ教会に瀬山会治司祭、北関東教区聖職ボランティア、小名浜で活動中の神戸教区ボランティアが集まり、情報交換。</p>	<p>4月3日(日)</p> <p>1. 原田司祭、小名浜で主日礼拝の奉仕。</p>	<p>4月10日(日)</p> <p>1. 原田司祭、藤井司祭、坪井</p>
<p>4月6日(水)</p> <p>1. 長田司祭、林司祭、永野兄は室根聖ナタナエル教会訪問後、陸前高田市へ向い、現地調査。</p>	<p>4月11日(日)</p> <p>1. 原田司祭、藤井司祭、坪井</p>	<p>4月12日(月)</p> <p>1. 管区にて東日本大震災救援活動について各教区担当者会議開催。芳我秀一司祭(副本部長)が出席。</p>
<p>4月14日(火)</p> <p>神戸教区東日本大震災救援本部</p>		

東日本大震災ボランティア応募について

神戸教区では大阪教区・京都教区と協働し、北関東教区日立聖アンデレ教会を基地として、東日本大震災被災地での支援活動を行って参りますが、現地の状況は日ごとに変化していますので、ボランティアを志望される方は、まず神戸教区内各教会に配信しております、「ボランティア受付票」にご記入の上、下記にお申し込み下さい(郵送、ファックス、mail)。またお問い合わせも下記にお願いします。

司祭 芳我秀一(神戸教区東日本大震災対策室長)
住所:〒671-1152 姫路市広畠区小松町4-36
姫路顕栄教会/電話・ファックス:0792-36-6506
Mail: haga-michael@hotmail.co.jp

1. 3月12日(土)に開始された神戸教区東日本大震災救援活動は、4月12日(火)をもつて第1期を終了する。
2. 第2期救援活動は京都・大横浜教区の千葉県内被災地視察。銚子諸聖徒教会にて聖餐式の司式。
3. 日立聖アンデレ教会をボランティア基地にして4月19日(火)の開所式をもつて発足する。
4. 日本大震災救援本部を改編し、以下の組織を新たにつくり、大震災救援に対応する。
名称: 東日本大震災対策室
室長: 芳我秀一司祭(教務局長)
3月12日(土)に開始された神戸教区東日本大震災救援活動は、4月12日(火)をもつて第1期を終了する。
5. 第2期救援活動は京都・大横浜教区の千葉県内被災地視察。銚子諸聖徒教会にて聖餐式の司式。
6. 日立聖アンデレ教会をボランティア基地にして4月19日(火)の開所式をもつて発足する。
7. 日本大震災救援本部を改編し、以下の組織を新たにつくり、大震災救援に対応する。
名称: 東日本大震災対策室
室長: 芳我秀一司祭(教務局長)

神戸教区東日本大震災 第一期救援活動

小名浜聖テモテ教会での救援活動支援

神戸教区の皆様に感謝を込めて

3月11日の大震災から早いもので一ヶ月が過ぎました。未だ原発と余震が続く中で福島県いわき市民37万人が生活しております。

震災後早い段階で小名浜聖テモテ教会・幼稚園を会場に市内超教派の牧師達が動き出し、支援活動をスタートさせました。そんな中一本の電話が私の携帯にかかるきました。「無事か?何か必要か?」と神学校同期の原田司祭からの安否の問い合わせでした。

私は「物資はもちろん無いが、特に働き手がおらず、直ぐに来てくれ」と言ったところ、「わかった、了解」という返事が直ぐに返ってきました。それからの神戸教区の決断、指示の早かった事、今も驚きです。

阪神淡路大震災の思いが結びついたのか、スピードの大切さを思い知られました。その後、神戸からベテランのスタッフが次々と当支援センターに駆けつけ、さながら戦場の様でしたが、実際に見事なチームプレイで10施設400人の対応にきめ細やかと難局に当たっていました。神戸教区から遙か900キロ越えたキリストの協働体の交わりを見せつけられ涙が出るほど今も感動と感謝しております。

早く彼らを派遣してくださった中村主教様はじめ、神戸教区の皆様ありがとうございました。未だ先が見えませんが、避難命令が出る迄この地で生き抜いてまいります。お祈りください。

2011年4月 主にあって 司祭 越山 健蔵

3月12日に開始された神戸教区東日本大震災救援活動は、4月12日をもって第一期を終了しました。この間の主な活動は①、東北教区小名浜聖テモテ教会における救援活動の支援（人材を派遣し、救援物資分け作業及び配達。②各教会からの救援物資の送付）。③、被災地域への緊急物資輸送。④、北関東・東北・横浜教区の被災地域への問安ーの3点でした。この間に被災地域に入り、活動した神戸教区関係者は聖職9名、神学生2名、信徒3名でした。殊に重点が置かれたのは小名浜聖テモテ教会における救援活動への支援でしたが、同地で2週間、支援活動をされてきた原田佳城司祭から、現地の状況、活動についてお話を伺いました。

小名浜聖テモテ教会 支援の契機は?

同教会牧師の越山健蔵司祭と、原田はウイリアムズ神学館の同期であり、大震災後、やつと通じた電話で、上記の手紙の冒頭にあるような困窮を知りました。

教会自体が被災しながらも、地域の被災者のために大切な働きをしていることを知り、支援に向かいたい旨、教区主教を通して東北教区に伝え、また明石の教会委員会の快諾を得て、出発しました。

小名浜の被災状況は?



小名浜の幼稚園ホールに全国から集まつた救援物資

同教会での救援活動は?

小名浜の場合は、やはり福島原発事故の影響があります。小名浜聖テモテ教会は事故を起こした原発から50キロ離れており、避難地域とはなっていませんが、地震や津波の被害に加えて大きな不安材料だと思います。

小名浜海岸部の津波被害は凄まじいものがありますが、ニュースなどでは宮城県、岩手県の被災地がよく流れています。福島県の被害は原発事故一辺倒になつてゐるよう思え、危惧しています。(1頁写真参照)

様々な風評被害も厳しいものがあるでしょう。そうした事柄も含めて、支援がこれからも必要に思います。

支援物資を受付けて、市内の被災者や高齢者施設などに支援物資に配布する活動であり、約400人を対象としていました。越山司祭ご家族、幼稚園の先生方、市内超教派の牧師・信徒の方々がなさつておられました。が、皆さん自身が被災者でもあります。大変だったと思います。

私は支援物資の仕分けやボランティア活動をされている方々、約20名の賄いをさせて頂きました。また被災信託問合せなどで忙しい越山先生に代わり、主日礼拝での奉仕をさせて頂きました。被災地の聖職は、常に大変です。そのある機関、会が大変です。その大変な事の大きさはと感ります。



小名浜での支援物資の配達作業

二〇一〇年度

ウイリアムス神学館卒業式

司祭 パウロ 上原 信幸

東日本大震災の余震の続く中、
グネス教会(主教座聖堂)でウ
イリアムス神学館の卒業・終業
式が行われました。

ウイリアムス神学館では、毎
年10人程度の学生が学ばれてお
り、各学年平均3人ほどだそう
ですが、今年度は少し多く5名
の学生が、旅立ちの時を迎えま
した。

当教区のリチャード池澤隆輝
聖職候補生が、旅立ちの時を迎
えました。

科生3名が卒業し、一昨年より
新設された伝道師養成コー
ス終業生1名と、特別聴
講終了1名が、それぞれ
証書を授与されました。

礼拝の中で横浜教区の
三鍋主教様は、以前は神
学生同士の年齢も近かつ
たが、近年は学生の年齢
も経験も非常に多様化し
ており、そのような中で
修練を積み、人間関係を
築いたことを、教会の現
場でも生かして欲しいと
説教されました。

礼拝後、京都教区セン
ターで祝会が開かれ、神
学館の理事長である高
地主教様は、牧会の場は、
自分の子どもが熱を出し
ているといったような日
常的なことと、そのよう
な中でお葬式が行つてい
るというような、非日常
も異なっています。



東日本大震災の余震の続く中、
グネス教会(主教座聖堂)でウ
イリアムス神学館の卒業・終業
式が行われました。

ウイリアムス神学館では、毎
年10人程度の学生が学ばれてお
り、各学年平均3人ほどだそう
ですが、今年度は少し多く5名
の学生が、旅立ちの時を迎
えました。

当教区のリチャード池澤隆輝
聖職候補生が、旅立ちの時を迎
えました。

科生3名が卒業し、一昨年より
新設された伝道師養成コー
ス終業生1名と、特別聴
講終了1名が、それぞれ
証書を授与されました。

礼拝の中で横浜教区の
三鍋主教様は、以前は神
学生同士の年齢も近かつ
たが、近年は学生の年齢
も経験も非常に多様化し
ており、そのような中で
修練を積み、人間関係を
築いたことを、教会の現
場でも生かして欲しいと
説教されました。

礼拝後、京都教区セン
ターで祝会が開かれ、神
学館の理事長である高
地主教様は、牧会の場は、
自分の子どもが熱を出し
ているといったような日
常的なことと、そのよう
な中でお葬式が行つてい
るというような、非日常
も異なっています。

が交錯する場であり、そのよう
な状況の中で、大切なものを見
失わずに歩んでいただきたいと、
祝辞をされました。

池澤聖職候補生は、4月1日
より、神戸聖ミカエル教会で勤
務されています。

(神戸聖ミカエル教会牧師)

神戸教区は広大な領域であり、
そこにはおよそ1,700万人
の人々が生活しております。わ
たしたちが携えるイエス様の福
音を、まだ知らない人々へどの
よう伝えられるでしょうか。
日々ともに考え、実践していき
たいです。どうぞこれからもよ
ろしくお願ひいたします。



ウイリアムス神学館 を卒業して

聖職候補生
リチャード 池澤 隆輝このたび、3月にウイリアム
ス神学館を卒業し、4月より神戸聖ミ
カエル教会に勤務

しておられます。皆

様のお祈りとご支

援により、3年間

の課程を無事に終

えることができま
した。心から感謝
を申し上げます。神学館では、60代
から20代までべ
ての世代がそろつ
た寮生活を続けて
いました。皆それ
ぞに経験があり、
考へてることも
背負っていること
も異なっています。その際、衝突もあ
りますが、結果的に得るもの
の方がはるかに多かったです。こ
のことは私にとって大きな財産
となりました。私は神学館での
勉学と交わりを活かしながら、
皆様と共に宣教の働きに参与し
ていただきたいと願っています。

神学校のための主日	
5月15日(日)	ウイリアムス神学館・ 聖公会神学院のために祈り、 信施を献げましょう

2011年度 第3回
教区事務所会議報告(抜粋)

日時 2011年4月15日(金)
18時00分～20時00分

場所 教区会館会議室

I. 報告事項

1. 宣教部報告

① 広島・長崎平和礼拝の為の
学習会を5月連休に計画し
ていたが、延期する。

② CTC、中高生大会準備会
報告(次頁参照)

③ 沖縄の旅では、引率の小林
司祭以外は管区「平和宣教
教育資金」から補助が出る。

2. 財務部報告

① 昨年度教区決算報告書作成。
② 2012年度各教会拠出金
財務部案を作成。前年度と
の増減額を10%にまで調整
して来たが、次年度は20%
に変更する。

3. II. 決議事項

1. 沖縄の旅への教区からの補
助は、小林司祭派遣分5万
円を追加し7万円とする。
2. 教会配布用の拠出金配分案
表を単純化する。
3. 広島伝道区、山陰伝道区提
出の宣教活動費申請、各10
万円を承認する。

教区財政についての所感

神戸教区 財務部長 サムエル 飯田恵二



きており、それが教会の教勢にも影響しています。これまで教会を支えてきた方々は、年金世代となり、教会の経済を支える

ことが困難となっています。

また、長期に亘る厳しい経済

事情などによって、各個教会の

教勢は停滞し、教会の自給や、

牧師の定住を困難にし、教会の

将来に展望が開けない状況にあ

ることが推測されます。

牧師が定住している教会の財

政が脆弱化してきていることも

危惧します。新たな発想による

宣教の取り組みが必要であると

思います。

そして、更に各個教会が抱え

ている問題を聖職、教会員全員

が共有して、7月の教区宣教協

議会の開催に向けて、活動を具

体化させていかなければなりません。

このためにも、教区の各部、

各委員会及び教会が一体となつて宣教課題に取組むことが求められます。

現在は、グローバル化の急激な進展や、また低成長の長期間化、少子高齢化の現象などにより、社会環境が激しく変容して

在籍信徒の中には、遠方に転居された方や連絡が付かない方々もおられると予想しますが、教籍があっても教会に来ない、あるいは来れない方々や、家に引きこもり、無縁社会で孤立している人達もおられるのではないかと思われます。

私達の教会は、待つのではなく積極的な行動をもって、それらの方々一人一人に呼びかけ、教会に共に集う喜びを共有できればと思います。

教会は、信徒数の減少などに

より、個々の教会単位では宣教

を積極的に行なうことが困難になつ

てきてています。今までの教会單

独の宣教ではなく、教会どうし

が相互理解を深め、各教会は、

横の連携を強化した相互協働体制を構築した共同体としての取り組みが必要になって来ています。

神戸教区の各教会の2010

年度統計表の集計では、普通献

金の総額は前年とほぼ同額でし

たが、受聖餐者は28人と大幅に

減少となっています。

また現在信徒数は2,327

名ですが、主日礼拝の平均出席

者数は635名ですので、毎月

の主日礼拝に出席しない、ある

いは出来ない潜在的信徒は、教

区全体で1,692名になります。

さらに、3年以上教会と交わり

のない信徒が944名います。

(神戸聖ヨハネ教会信徒)

中高生大会準備会 及び キャンプサーバー・トレーニング・キャンプ (CTC) 報告

CTC報告

3月28日(月)～30日(水)にかけて、二〇一一年度のキャンプサーバートレーニングキャンプ(CTC)を徳島で開催しました。

参加者は9名でした。
(司祭 ヨシュア長田吉史)

28日夕刻から徳島聖テモテ教会にて、柏木圭介医師から救護法講義、その後、長田司祭の講話を聞き、キャンプサーバー(CS)同士のディベートを行いました。

二〇一一年度第48回神戸教区中高生大会に参加、また役員として従事する中高生たち、キャンプサーバーとして奉仕する青年たちのために祈り下さい。



CTCと中高生大会準備会の参加者

3月29～31日(火～木)の二泊三日、第48回神戸教区中高生大

会の役員13名による準備会を行いました。

初日は、夏の大会会場となる牟岐少年自然の家にて、CTCと合同で施設を見学し、テーマとプログラムについて検討しました。

二日目は、徳島聖テモテ教会に移動して話し合いが行われました。今年は「つながり」をテーマに、大会全体のプログラムを検討しました。

三日目は、牟岐少年自然の家にて、CTCと合同で施設を見学し、テーマとプログラムについて検討しました。

トマス入交源治司祭逝去
雨の聖土曜日の葬儀

見舞いに来られた方々の歌う聖
歌第498番「主われを愛す」
に合わせて口を動かされていました。
最後まで主の愛の内に生き、
言葉にはできなくても、神の愛
を伝え続けられたと語られました。

4月22日(金)受苦日の朝五
時五分、昨年8月より徳島県の
美馬病院に入院されていたトマ
ス入交源治司祭(85歳)が主に
召されました。

同日の午後六時から通夜の祈
り、23日午前十時半から葬送式
が徳島インマヌエル教会で、中
村豊神戸教区主教の司式、教区
の教役者補式により行われ、延
べ200名余りの信徒・教役者が
参列しました。

入交司祭がお元気な時には毎
主日、富岡キリスト教会で礼拝
を守っておられました。

富岡の牧師であり、入交司祭
を入院以来見舞つて来られた河
村博之司祭が、通夜の説教をさ
れなく、左手をあげて合図する
くらいだったのが、ある日、お



トマス入交源治司祭 略歴

生年月日	1926(大正15)年3月13日
洗礼	1950(昭和25)年12月24日
堅信	1951(昭和26)年4月1日
執事按手	1955(昭和30)年12月21日
司祭按手	1958(昭和33)年11月19日
逝去	2011(平成23)年4月22日
* * * * *	
1954年	富岡永生教会 牧師補
1957年	大洲聖公会 牧師
1962年	松山聖アンデレ教会 牧師
1979年	高松聖ヤコブ教会 牧師
1986年	新居浜聖三一教会 管理牧師
1993年	徳島インマヌエル教会 牧師
1996年	定年退職
1996年-2000年	洲本真光教会 嘱託司祭

葬送式では、佐藤真一司祭が説教をされ、高知を除く四国全教会で働かれ、愚直で不器用にも見えながら、しかしまずぐで真剣な奉仕であったことを偲び、そして受苦日に召された奇しき巡り合わせを思いつつ、入交司祭ご自身が、主と共に

（広報部瀬山公一記）
信仰の馳せ場を走り終えて天に召された、司祭トマス入交源治師のお働きに感謝しつつ、主にある光明と平安と、ご遺族への主よりの慰めをお祈りいたします。

5月の教区関係教役者逝去記念聖餐式

日時	2011年5月12日(木)午前10:30	
場所	神戸聖ミカエル大聖堂	
司式	主教 中村 豊	
説教	司祭 竹内 崇	
* 5月の記念逝去教役者*		
2日	司祭	覚前 政藏
5日	宣教師	ヴァイオレットJ・ヘッド
10日	司祭	フランク・ウエストン
14日	伝道師	マリア 松山 初子
16日	司祭	ポウロ 韓 浩
19日	主教	パウロ 八代 欽一
22日	司祭	ペテロ 長澤 四郎
24日	司祭	ヨハネ 村上 豊吉
24日	司祭	パウロ 大塚 磐
26日	司祭	末好 萬吉
28日	司祭	バルナバ 與賀田千秋
29日	司祭	アーネスト・ハッチンソン
30日	宣教師	マルベル C・バーグス

お詫びと訂正		鳩だより	祝	洗	礼
2月13日(日)	アンデレ 橋口 礼	3月4日(金) ヘレナ 大下よし子(73歳) 呉信愛教会	3月6日(日)	テレサ 増山 恵子 広島復活教会	3月27日(日)
3月6日(日)	テレサ 増山 恵子 広島復活教会	ダビデ 堅田 紀一 浜田キリスト教会	3月27日(日)	ダビデ 堅田 紀一 浜田キリスト教会	3月27日(日)
3月27日(日)	ダビデ 堅田 紀一 浜田キリスト教会	祝	聖	婚	祝
3月27日(日)	ダビデ 堅田 紀一 浜田キリスト教会	2月2日(水) エリザベツ 富塚寛子(82歳) 明石聖マリア・マグダレン教会	2月22日(火) ユニケ 田中淳子(74歳) 富岡キリスト教会	2月27日(日) パウロ 小田克己(83歳) 広島復活教会	2月27日(日) パウロ 小田克己(83歳) 広島復活教会
前号にて、アンデレ橋口礼さん の受洗日が5月13日となつ ていましたが、正しくは2月 13日でした。ご逝去されたエ リザベツ富塚寛子さんの所属 教会が富岡キリスト教会となっ ていましたが、正しくは明石 聖マリア・マグダレン教会で した。富岡キリスト教会でご 逝去されたユニケ田中淳子姉 のお名前が、連絡頂いていま したが掲載されていませんで した。また5月の教区関係教 役者逝去者記念聖餐式の逝去 者名簿が、4月の方々のもの になつっていました。以上の不 備をお詫びすると共に、訂正 し、再掲させて頂きます。	3月4日(金) ヘレナ 大下よし子(73歳) 呉信愛教会	3月4日(金) ヘレナ 大下よし子(73歳) 呉信愛教会	3月4日(金) ヘレナ 大下よし子(73歳) 呉信愛教会	3月4日(金) ヘレナ 大下よし子(73歳) 呉信愛教会	3月4日(金) ヘレナ 大下よし子(73歳) 呉信愛教会